

海岸・河川の南海トラフ地震・津波対策の促進

～ 浦戸湾の三重防護等の推進 ～
(令和13年度完成に向けて)

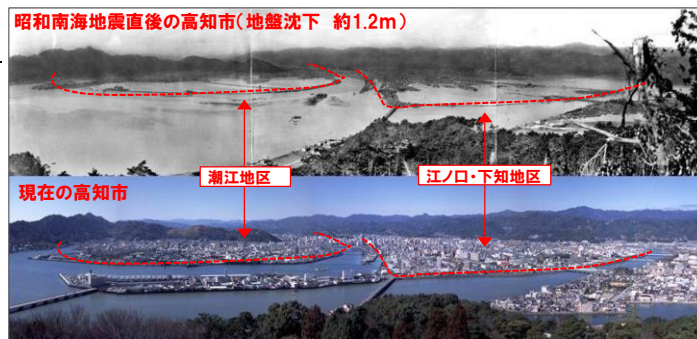
高知県

◆県人口の約48%が集中し、都市機能が集積する県都・高知市

- 未整備で南海トラフ地震が発生した場合
 - ◆約1ヶ月半の長期浸水(浸水範囲2,800ha)
 - ◆12万人の長期避難

◎地震・津波対策 (三重防護+二級河川)による効果

- ◆L1津波時の浸水被害をゼロに!
- ◆L2津波時には浸水期間の短縮
による社会経済活動の早期回復へ!



◆浦戸湾の地震・津波対策(海岸・河川)



◆県事業の進捗状況(海岸・河川)



◆整備状況(国直轄・県事業)



政策提言

- ・高知市の被害最小化により県全体の早期復旧・復興につながる浦戸湾の地震・津波対策は急務。
- ・南海トラフ地震の発生が逼迫していることから、事業の推進に不可欠な「第1次国土強靱化実施中期計画」を踏まえた関係予算については、近年の激甚化・頻発化している自然災害への対応や、急速な資材価格・人件費高騰等の影響を考慮したうえで、**必要な予算・財源を通常予算とは別枠で当初予算として確保**すること。
- ・加えて、令和7年度事業再評価による事業費増加も踏まえ、浦戸湾の三重防護対策の早期完成のため、**より一層の手厚い予算配分**をお願いする。